

# 第5章 保健・衛生

## 1 結核患者数の推移（表1、図1）

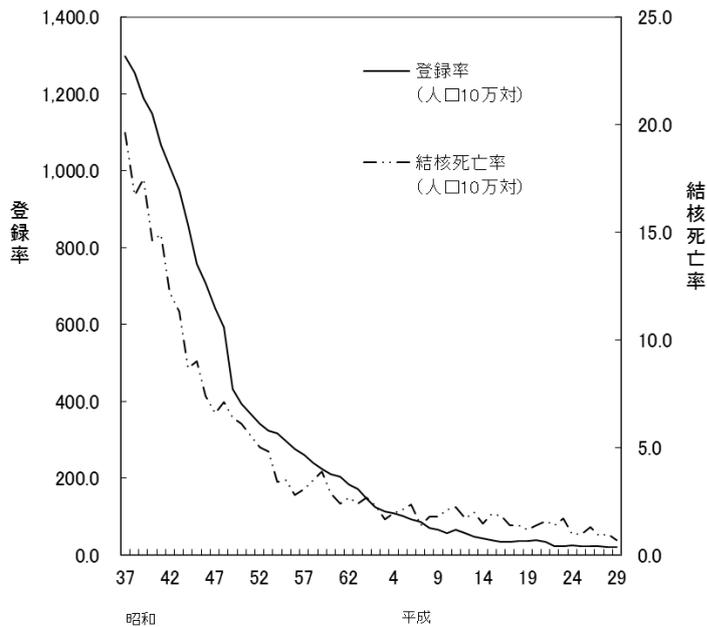
結核患者の登録率（人口10万対）は、昭和45年には758.0であったが、平成29年には20.9と約36分の1まで低下してきている。

また、結核による死亡率（人口10万対）も低下傾向を示し、近年では2.0未満で推移している。

表1 結核患者数の推移

年次	年末現在 登録患者数	登録率 (人口10万対)	新患者 発生数	罹患率 (人口10万対)	結核死亡数	結核死亡率 (人口10万対)
平成29	409	20.9	184	9.4	13	0.7
28	410	20.9	183	9.3	19	1.0
27	446	22.6	192	9.7	18	0.9
26	466	23.6	204	10.3	26	1.3
25	486	24.5	228	11.5	19	1.0
24	503	25.2	232	11.6	19	1.0
23	488	24.4	224	11.2	23	1.2
22	483	24.1	220	11.0	29	1.4
21	699	34.8	214	10.7	32	1.6
20	783	38.9	249	12.4	29	1.4
19	760	37.7	283	14.0	24	1.2
18	744	36.8	276	13.7	28	1.4
17	693	34.2	296	14.6	28	1.4
16	721	35.5	307	15.1	37	1.8
15	813	40.0	350	17.2	39	1.9
14	891	43.8	344	16.9	30	1.5
13	991	48.8	385	19.0	41	2.0
12	1,164	57.5	438	21.6	34	1.7
7	1,750	87.3	521	26.0	29	1.4
昭和60	4,028	211.7	658	34.2	56	2.9
55	5,475	296.2	953	52.0	64	3.5
50	6,932	394.7	1,237	70.0	108	6.1
45	12,575	758.0	1,709	103.0	149	9.0

図1 登録率（人口10万対）、結核死亡率（人口10万対）の推移



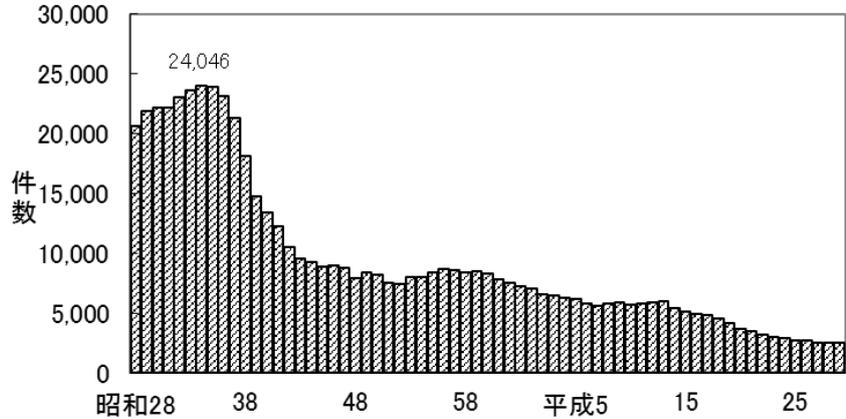
## 2 人工妊娠中絶件数の推移 (表2、図2)

人工妊娠中絶件数は、昭和34年の24,046件をピークに、その後大きく減少し続け、昭和40年以降は増減を繰り返しながら、減少傾向が続いており、平成29年度は2,543件だった。

表2 人工妊娠中絶件数の推移

年次	人工妊娠中絶件数
平成29	2,543
28	2,535
27	2,499
26	2,670
25	2,715
24	2,858
23	2,970
22	3,203
21	3,518
20	3,695
19	4,105
18	4,529
17	4,847
12	5,924
7	5,605
2	6,520
昭和60	8,339
55	8,347
50	8,197
45	8,922
40	13,429
35	23,904
30	22,191

図2 人工妊娠中絶件数の推移



(注)平成14年以降は年度

## 3 食中毒事件数・患者数の推移 (表3、図3)

食中毒事件数は、年次によるばらつきが大きく、平成29年は13件だった。

また、食中毒の患者数は、事件の規模により大きく左右されるため、年次により大きく変動している。1事件当たりの患者数をみてみると、過去には50人を超える年もあったが、近年では50人未満で推移している。

表3 食中毒事件数等の推移

年次	事件数	患者数	り患率 (人口 10万対)	1事件 当たり 患者数
平成29	13	219	11.2	16.8
28	14	197	10.0	14.1
27	21	745	37.8	35.5
26	13	264	13.4	20.3
25	10	444	22.4	44.4
24	14	272	13.7	19.4
23	13	632	31.6	48.6
22	10	264	13.1	26.4
21	14	377	18.8	26.9
20	25	579	29.3	23.2
19	19	722	36.5	38.0
18	17	740	36.6	43.5
17	12	266	13.1	22.2
12	7	242	12.0	34.6
7	4	341	17.0	85.3
2	15	1084	55.1	72.3
昭和60	12	581	30.2	48.4
55	14	238	12.9	17.0
50	27	1241	70.7	46.0

図3 食中毒事件数・患者数の推移

